

これからの国際協力に求められる人材とは

国際開発プランニングコンテスト 2009

2009年2月16日

外務省国連企画調整課長 紀谷昌彦

1. 志を持つ

- ・ 一度の人生、何をやりたいのか
- ・ 原体験は心の支え
- ・ エネルギーをどう持続するか（「自燃人」）

2. 現場を知る

- ・ 問題解決のアイデアは、現場で見えてくる
- ・ 一番の当事者は、開発を担う本人
- ・ 現場と理論の組み合わせでインパクトが生まれる

3. 専門性を持つ

- ・ 狭くてもナンバー・ワンになる
- ・ 問題意識を深掘りする
- ・ 他流試合をする

4. マネジメントとリーダーシップを学ぶ

- ・ マネジメントは宝の山、実務には不可欠
- ・ 人を動かさないと社会は変わらない
- ・ 自ら「実行すること」

5. ネットワークを作る

- ・ 結びつけるところから価値が生まれる（さや取り＝アービトラージ）
- ・ 関心分野の第一人者と会い、そのメッセージを広く伝える（与える）
- ・ ICTの持つ無限の可能性

6. 語学力をつける

- ・ 観念せよ、英語は下手でも勉強するしかない
- ・ プレゼン能力は重要、面接が日本人にとって大きなハードル
- ・ 他の語学も差別化に役立つ（フランス語、アラビア語など）

7. 道を切り開く

- ・ グローバリゼーション・多極化の世界、変わるものと変わらないもの
- ・ ソーシャルビジネスの予兆
- ・ 世界の舞台で、日本、日本人、そして自分自身の強みは何か

【関心を持った人のために】

1. 志を持つ

渡邊美樹「強く、生きる。」(2008年6月、サンマーク出版)

2. 現場を知る

紀谷昌彦「ODAの現地機能強化を推進するために - バングラデシュ現地 ODA タスクフォースの実践と教訓 - 」(2007年12月、GRIPS 開発フォーラム)

<http://www.grips.ac.jp/forum/pdf07/dp17.pdf>

3. 専門性を持つ

ポール・コリアー「最底辺の10億人」(2008年6月、日経BP社)

4. マネジメントとリーダーシップを学ぶ

ジョン・C・マックスウェル「あなたがリーダーに生まれ変わるとき」(2006年9月、ダイヤモンド社)

5. ネットワークを作る

紀谷昌彦「途上国開発のためのネットワーキングをどのように推進すべきか」(2006年8月、国際開発研究者協会(SRID)懇談会)

<http://www.kiya.net/papers/060803networking.pdf>

6. 語学力をつける

(ひたすら聞いて、音読しましょう)

7. 道を切り開く

山口絵理子「裸でも生きる - 25歳女性起業家の号泣戦記 - 」(2007年9月、講談社)

Steve Jobs, "Stay Hungry, Stay Foolish" (2005年6月、スタンフォード大学)

<http://news-service.stanford.edu/news/2005/june15/jobs-061505.html>

【関連ウェブサイト】

いっしょに国連

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/together-un/>

国際機関人事センター(メルマガあり)

<http://www.mofa-irc.go.jp/>

国連フォーラム(メーリングリストあり)

<http://www.unforum.org/>

ワシントンDC 開発フォーラム(メーリングリストあり)

<http://www.devforum.jp/>

Club JPO(メーリングリストあり)

<http://homepage3.nifty.com/clubjpo/>

平和構築フォーラム(メルマガあり)

<http://www.peacebuilding.jp/>

kiya.net - 日本の良さを世界のために -

<http://www.kiya.net/>

(以上)